

# 西麗会会報



埼玉県立浦和西高等学校同窓会

西麗会ホームページ <http://www.seireikai.org/>

## 4月25日(日曜日)母校で会いましょう



総会  
は  
日  
曜  
日  
開  
催  
で  
す

2009年6月 体育祭にて

(撮影 斉藤俊一)

### 西麗会総会のご案内

日時 4月25日(日)

10時30分 開会

11時30分 記念授業

12時40分 懇親パーティー

14時30分 閉会予定

会場 西高50周年記念館

内容 ①総会

②記念授業

講師 柴崎 武宏先生

「新しい自分を見つける旅に出ませんか」

③懇親パーティー

\*

今年も日曜日開催です。おましがえのないよう声をかけ合ってお出かけください。

# 2010



# 会長あいさつ

## 「おかえりなさい」

西麗会会長 高橋 幸雄



全国の西麗会会員の皆さん、お変わりありませんか。

それが西麗会です。

今年もまた、母校〈西高坂〉の

麗会会報を、お受け取りください。

桜が満開です。

離れて久しい故郷の便り——西

この坂を上り下りして母校を巣立っていった卒業生の数が、いまや二万人をはるかに超えました。

今年もまた、西麗会総会にお帰りください。

別所時代の浦和第二高等女学

校、浦和第二女子高等学校、浦和

西高等学校の先輩方が、これに先

行します。(個人的なことですが

私は別所入学、皇山卒業です。)

物故された方々も含めて、これ

だけ大勢の方々の思いが、西麗会

に受け継がれているのです。

出港した船が帰港する場所——



### 記念授業講師は柴崎武宏先生(化学)



#### 「新しい自分を見つける旅に出ませんか」

(教育カウンセラーの立場から)

柴崎先生は昭和五十年に理科(化学)の教師として西高に着任され、以降昭和五十九年まで勤務されました。先生は西高の中の若手教師として、生徒会指導などを担当され、夜の十時過ぎまで生徒と話していたことなどが楽しい思い出として残っているそうです。

当時の西高生は目的意識を持った自立的な生徒が多く、また先輩の先生方も学究的な方が多く、学校にはアカデミックな雰囲気があふれていたそうです。最近の西高改革に伴う入試倍率の高さには喜びを感じつつも、西高の良さは失わないで欲しいとも述べられました。

先生は西高時代に化学教育の研究、発表に取り組むかたわら、カウンセリングの研究にも没頭されました。県立岩槻高校の校長を退職された後、現在、埼玉大学等で教鞭をとられ、学生に対して教育心理、教育相談の指導をされています。また、日本教育相談学会埼玉県支部の理事長も務めておられます。

今回、「新しい自分を見つける旅に出ませんか」のタイトルで記念授業をしていただきます。

皆さんも、先生のお話を聞いて、生まれ変わってみませんか。

インタビュアー 秋山 喜代子

福島 眞砂代

島崎 富夫

# 私と西高 ある教師の思い出

高橋 たかはし 千劍破 ちかはや  
(昭和三十六年卒)



族ぐるみの付き合いが続いている。仲間には何人かの女性もいるが、そのうちの一人が吉田先生の奥様となった英子さんだ。

平成十六年(二〇〇四年)四月四日の夕刻、価千金どころか、氷雨の降る寒い寒い春宵であった。凍えそうなその雨の中を、三百人を超える人たちが行列をつくった。東松山市の萬松寺、吉田博美先生の通夜である。先生は四月一日、テニスを楽しんでる最中に倒れ、そのまま不帰の客となった。享年七十歳。まだまだお若い。

吉田先生は、昭和三十三年(一九五八年)四月に東京教育大学を卒業し、二十二歳で浦和西高等学校に赴任した。その年に、僕は西高に入学した。僕らというのは、西高を卒業して今日までほぼ五十年の間、切れることなく続いている仲間たちである。吉田先生が担任だった三年E組を中心とした十人ほどの仲間で、結婚後も家

翌日の告別式は、前夜とはうって変わって晴天であった。境内の桜が陽に映え、暖い一日となった。

前夜同様に、多くの人たちが葬儀に参列した。教え子たちだけでなく、教育関係者の方々も多かった。埼玉県の元教育長の荒井桂先生が、「どうやっても吉田さんには敵わなかった」とつぶやいた。荒井先生

は、県立松山高専から東京教育大学へと、吉田先生と同じ道を歩み、昭和三十五年浦和西高に赴任した。二年先輩の吉田先生に憧れ、あとを追ったのだという。僕らが、「ちんころ亭お二階桜の間」と名付けた、与野の吉田先生の下宿に、荒井先生も一緒に住んだ。

## あらかつ・大将

ちなみに僕は、荒井先生を、吉田先生にならって「あらかつ」と呼び習わしていた。吉田先生は

「大将」か「吉田さん」で、「先生」とはめつたに呼ばなかった。

その「大将」と「あらかつ」さんに散々迷惑をお掛けしたのは、西高を卒業した翌年のことであった。高校三年間、部活や遊びに夢中で、さっぱり受験勉強をしなかった僕は、何人かを除いて浪人を余儀なくされた。その浪人生たちが、月に何度かは大将の下宿に泊り込んでドンチャン騒ぎをした。飯を炊いてもおかずの取り合いで、先生と生徒が喧嘩である。安酒を飲んで放歌高吟、二階の窓から小用を足したりと、大家さんにご近所には大分響きを買ったに違いない。そんなとき荒井先生は、押入れの中で早々と寝るか、どこかへ出かけて帰って来なかった。

その後何年かして荒井先生は西高を去り、県の教育局に移って、やがて教育長にまでなった。その荒井先生が、「吉田さんには敵わない」といったのにはわけがある。教師の理想の一つが、一流校に赴任して優秀な生徒を育てることにあるのは、いうまでもない。

卒業して二十年後、僕らの仲間の最後の一人が結婚した。その二次会でのことである。西高時代の先生の多くが、いわゆる県下の一

流といわれる高校の校長になっていた。吉田先生はといえば、定時制高校の教頭である。しかも、教師が不足していて英語を教えているという。僕らとしては大いに不満だ。「大将は数学でしょ。英語なんて教えられんの。はやく西高の校長になつてよ。」

## 弱き者へのまなざし

そのとき、吉田先生はこういつた。「あのな、俺がいま教えてる生徒の中には、ABCを最後まで書けないやつもいる。そういつた連中を教える教師も、いなきや困るだろうが」そのときハッと気が付いた。吉田先生の、弱者や落ちこぼれた者たちへの温いまなざしに、である。先生は、教師としてのもう一つの理想を買ったのだ。荒井先生の「敵わない」はそうした意味であり、氷雨の中を並んだ多くの教育関係者の胸中も、同じ思いだったに違いない。

〈追記〉吉田先生は、所沢北高の校長を最後に、平成六年教職を全うされた。

歴史・文芸評論家。日本ペンクラブ常務理事。『歌鳥風月の日本史』『江戸の旅人』『名山の民俗史』ほか著書多数



# あの先生は今



平成二十一年四月二十六日に開催の西麗会総会の案内状にご回答いただいた先生方の返信の一部を掲載いたします。紙面の都合ですべての先生がたのご紹介ができないことをお詫びいたします。

また、一部抜粋しておりますのでご了承ください。(敬称略)

川越市 長谷川肇志(数学) 八十一歳になりました。三十歳代をお世話になった西高での十二年間の良き日が、宝物のように思い出されます。いくつかの趣味と会合で過しています。

川越市 中村 正美(英語) 「人生は一筋がよし、寒椿」という言葉を胸に、時には生徒と泥まみれになって、また時には生徒のやさしい言葉に支えられて働いて

来ました。それももうすぐ終わります。

さいたま市 松崎 豊子(英語) いつも会報をありがとうございます。同じ市内に住みながらご無沙汰しておりますが、いつか懐しい西高を訪ねたいと思います。その時まで、元気ががんばります。

さいたま市 小川 均(理科) 五年前に、西高から志木高校に転勤し、この三月を持って無事定年退職しました。私にとって一番光り輝いていた西高の七年間に深く感謝している農園の毎日です。

さいたま市 澤田由紀男(数学) 西高の正門、あのゆるやかな坂を登りきったとき、校舎・グラウンドを眺めたときの心のときめきは何だったのでしょうか。

川越市 吉沢 義和(書道) 会報楽しみにしております。今は文教大学生涯学習センターのオーブンユニバシティで社会人向けの書道講座を担当しています。家庭菜園で気分転換しています。

熊谷市 新井 壽郎(社会) 長い間、夫壽郎が大変お世話になりました。平成18年11月4日に死亡いたしました。ご報告のおくれをお詫びいたし御会のご発展を祈念申し上げます。

銚田市 斎藤 恂(国語) 古河市と戸田市の二つの建設会社の品質管理室長としてISOの仕事を担当しています。そういう訳で年間二万キロ近く走っています。が、車って楽しいですね。



記念授業の中野喜美先生 '09 総会

さいたま市 菅原 鉄也(国語) 四月から佐野市の山奥で、クラインガルテンに泊まり込み、週末農業を楽しんでいます。今年は、公開講座で「源氏物語入門」をやります。西高時代を思い出して。

相模原市 平山 良吉(英語) 小生85才、衰えてきました。昭和26年から2年余英語をおしえていました。浦和西高の自由な校風がよかったです。別所沼を懐しく思い出します。御多幸、御清栄を希っています。





記念授業の中野喜美先生 '09 総会

●鳩山町 和田 幸男(地理)

西麗会報第33号をお送りいただき嬉しく存じます。教育活動の様子、同窓会、先生方の活動状況が紹介されており、我が事の如く、喜んでおります。盛会を祈念します。

●東松山市 荒井 桂(社会)

近況閑詠二首

○さまざまの教へ思ひを辿り来て  
孔夫子逝きし齡越えたり  
○「一以て貫く」ほどにあらねども  
自分らしさのはつかなる徑

●江戸川区 村田 秀子(体育)

懐しいお便り有難うございます。

娘と年に五回位一、二泊で旅に出かけるのを楽しみにしております。

●さいたま市 大木 義夫(理科)

西麗会のご案内を有難うございました。小生八十五才、実は昨年脳梗塞になり自宅にて接骨院の医師の一日おきのリハビリにより回復しつゝ、あり有難く思っております。

●さいたま市 悴田 てる(家庭)

会報いつもありがとうございます。退職後の茶道教室は90歳で閉じました。今は短歌を続け21年NHKの春のコンクールに入選が出来、頭の体操として頑張っています。

●上尾市 楚山 大和(英語)

定年退職して三年。幕末から明治初期の日米関係を勉強しています。仕事の合い間に骨董市めぐりをし、古い時代の日本の香を楽しんでいます。盆栽、ジョギングも続けています。

●さいたま市

奥野 和子(保体・社会)

西麗会報ありがとうございます

た。元気に過しております。西高時代を楽しく思い出し、体育館で夢中で新体操にとり組んだことが昨日のことのようです。部員の皆さん元気ですか。西麗会のみますますの発展を祈ります。



'09 総会

●さいたま市 伊藤美和子(事務)

会報、ありがとうございます。毎年楽しみにしております。三月に膝の手術をし、リハビリに通い今は元気になり、日々楽しく趣味中心の生活をしております。

●さいたま市 島崎 富夫(教頭)

与野駅の反対側の与野高で二年目を迎えました。母校の西高に少しでも追いつけるよう学校運営に努めたいと思う日々です。

●さいたま市 柴崎 武宏(化学)

埼玉大学他で教員養成の講座を担当しています。西高校卒業の先生方も活躍されています。人づくりのための基本づくりと心しています。西高校のよさを大切に。

●川口市 石原 慶代(英語)

県境に近い八潮高校に転勤しました。在職中は宝物のような日々だったと今、改めて思います。皆様、ありがとうございます。西高で得たものを大切にしつつ、新たな出会いを楽しもうと思います。





# 祝 第一回生の皆さまの 米寿をお慶び申し上げます。

浦和西高校の前身である旧制浦和第二高等女学校  
第一回卒業生の皆さまが、昨年から今年にかけて米  
寿を迎えられました。

先輩方のご慶事を二万人の西麗会員を代表してお  
慶び申し上げます。

当時の高等女学校は四年制でした。第一回生五十  
人のほとんどは大正十年または十一年の生まれで、  
戦争前のよき時代に別所鹿島台の地で自由闊達な学  
生生活をエンジョイされ、現在の浦和西高校の校風  
の礎を築かれました。

高女卒業後、日本は戦争への途をたどり、ご苦勞  
も多かったことでしょう。

大正、昭和、平成と、激動の時代に生き、現在は  
お幸せな毎日をご過ごされていると思います。

先輩方のご苦勞の上に今の浦和西高校の、さらに  
は日本の繁栄があることを思うとき、感謝の念を禁  
じ得ません。

先輩方が卒寿、白寿……とさらにご長  
寿をされますことを願い、お祝いのこ  
とばといたします。

西麗会会長 高橋幸雄



**情報**

**交差点**

- 女子サッカー部は県大会ベスト8  
となりました。
- 管弦楽部は2009年6月21日に  
第16回定期演奏会を開催し、マ  
ラーほかを演奏しました。
- 地学部は「硬砂層の研究」で高校  
科学展県中央展で優良賞を受賞し  
ました。
- 女子バスケット部は新人戦県大会  
でベスト8となりました。
- 埼玉県書初中央展覧会において  
兼久紗織さん、小南果世さん、  
福田そらさん、棚村優香さん、  
吉野有香さん、金澤友香里さん、  
磯谷美波子さんが特選賞をそれぞ  
れ受賞しました。
- 21年度高大連携講座として、4回  
の講座が開かれました。内容は次  
の通りです。
- ①「教育に希望を託そう」
- ②「漢字の文化史」
- ③「ピアノ音楽の歴史」
- ④「大学に入る前に何をしたら  
いいのでしょうか」
- 浦和西高校職員室を拡張するため、  
西麗会総会決議により、事業積立金  
から215万円を支出しました。職  
員室は格段に明るく広くなりました。

**お世話になった先生方**  
平成21年度当初人事異動  
(敬称略)

教諭	服部 昭五	退職
	柴田久美子	上尾鷹の台 高校へ
	柿沼 克紀	与野高校へ
	加来 宗俊	和光高校へ
	石原 慶代	八潮高校へ
	谷ヶ崎 覚	生徒指導課へ
	峯岸 常之	任期満了
	長谷川利夫	任期満了
	増田加奈子	草加南高校へ
	菊地 滋幸	不動岡高校へ
	新井 卓也	さいたま桜 高等学校へ
主 事	村山 健一	総合教育 センター
	荻野 晴生	任期満了
	入江三智子	任期満了



# あの年の友



題字・カット  
山本鐘互  
(昭和40年卒)

## ●新宿区 大浜愛子(昭和13年卒)

私達一廻生は今年度で八十八才になり、米寿を迎えます。セーラー服姿の昔を思い、夫々に越えた長い戦後を思い、感無量のものがあります。西麗会の発展を祈念いたします。

## ●東松山市小山(長島)貞子(昭和16年卒)

会報を嬉しく拝見致しました。特に校歌の特集をお組み下さり、折ある毎に、優しさの中に凜とした表情の校歌を歌った事が思い出されました。山本れん先生、正木先生今は亡き両先生をなつかしく、偲びました。

## ●さいたま市 高橋美智子(昭和16年卒)

八十四才の誕生日を迎えましたが、昔の事が昨日のように思い出されてきます。平和な時代がいつまでもつづくよう心から祈っています。

## ●中央区 別部多恵子(昭和16年卒)

目を閉じると、プールや、百米コース、雨天体操場等懐しい風景が目に見えます。女学校対師範の試合では「打倒師範!!」と云って応援した若い

頃が本当になつかしいです。

## ●山形県東村山郡

### 折笠栄子(昭和18年卒)

第二高女の二つの校歌なつかしく読みました。戦時中で、二番目の校歌は正しく歌えませぬ。入学時から歌っていた校歌は、大好きで、今でも歌えます。

## ●東松山市 大塚信代(昭和25年卒)

「なつかしき母校や先生生徒らの記事を読みつつ愛しむ年月」第二高女、西高に育って本当に幸せです。羅災して浦和の女子師範へ、父の勤務校に来たのが縁でした。

## ●さいたま市 中野喜美(昭和26年卒)

西高を卒業して58年になりました。今年数えて喜寿になります。傘寿、米寿、卒寿、白寿などいろいろな通過点があるなあと思っています。

## ●さいたま市 西村久美恵(昭和26年卒)

私は高三で転入し、家庭科は悴田先生のご指導でした。通所訓練センターで先生の短歌を拝見。先生は91

才でお元気で訓練されているそうです。又、中野先生は同級生、清水マリさんは同じ町内。懐しいお名前満載の会報でした。ありがとうございます。

## ●市川市 木下(相見)聖子(昭和29年卒)

西麗会会報を毎年お送り下さいましてありがとうございます。卒業して五十五年。別所沼の上にあった校舎がともなつかしく思います。体調もよかつたり不安も。

## ●北区 小林稔正(昭和29年卒)

二五ヶ国のEU加盟会議の際、言語統一も議題となったが、取り敢えず英語とするムードで結着したとか。老人も簡単な英会話位はと年令無関係と励むが、三日坊主の明け暮である。

## ●上尾市 加藤正納(昭和30年卒)

郵便事業(株)新東京支店、週5日フルタイム勤務、(公務員定年退職後、引続き73才)、私郵政にターン、ターンとは「転換の意」あり、郵政は全く無縁でしたが……。

## ●さいたま市 荒井利尚(昭和31年卒)

五十年持ち続けた自動車運転免許証を返上しました。健康が一番の宝です。国内外の旅を重ね、美味なるものに舌鼓を打つたりしています。

## ●さいたま市 桜田 勇(昭和31年卒)

母校に硬式野球部が発足して数年たち、毎年夏の県大会の応援に出掛けております。是非目の黒い内に夢

の甲子園に連れて行って下さい。頑張れ野球部!!

## ●さいたま市 高橋國彦(昭和33年卒)

08年9月に東京大学大学院工学系研究科、博士後期課程を修了、学位を授与。論文題目「携帯電話の素材リサイクルに関する研究」博士(工学)となりました。

## ●川口市 竹ノ谷光美(昭和33年卒)

昭和33年に卒業した私達は今年70才になります。それを記念して9月5日に同窓会を開きます。午後2時に西高祭に参加し4時に埼玉ラフレで会合を開きます。

## ●さいたま市 沢村(前川)栄子(昭和34年卒)

毎年人間ドックで検診をしておりますが、だんく要チェック事項が多くなり、老いのせつなさを痛感しています。でもあまり弱気にならず頑張っていこうと思います。

## ●川口市 小川正一(昭和35年卒)

二男が結婚した。新郎の父として、「お礼の挨拶」を無事、終了する事が出来た。来年のホノルル・マラソンに向けて、日々の健康に気をつけている。完走したい。

## ●千葉市 佐藤喜和子(昭和35年卒)

漢方に興味ありませんか(?) 私は東洋医学に足を踏み入れて20年以上になるでしょうかねエ…「漢方薬・生薬認定薬剤師」でもあります。いきなり各論になりますが『芍薬甘草



湯』なる漢方薬聞いたことありますか……急激におこる筋肉のけいれんを伴う疼痛に効果があるくすりです。そうです、スポーツのあとに皆さんご経験のある「こむらがりえり」の痛みです。

●新座市 松村昭子(昭和35年卒)

西麗会の会報、ありがとうございます。今、桜が満開で、きれいな時期ですね。近くに散歩などをして、元気で過ごしています。かしこ

●川口市 山田圭士(昭和35年卒)

「花は盛りに、月は隈なきをのみ見るものかは」卒業後はや五十年、気がついたら盛りは大分過ぎてしまいましたが見頃の時はこれからです。

●横浜市保土ヶ谷区

野口純一(昭和36年卒)

かのラデツキー行進曲のイントロを口ずさみ、「遠つ世ゆ」と続けると、快調にすべり出します。浦和西高永遠なれ

●さいたま市 原田根岸礼子(昭和36年卒)

昨年大宮から人形の町、岩槻へ越しました。何となくあたたかな感じの町で、これからも元気で過したいと思っております。

●東松山市 吉澤稔之(昭和36年卒)

地域老人会の責任者、小学生の登下校時の見守隊の会長等ボランティア活動をしています。

●文京区 林野 宏(昭和36年卒)

春霞にゆれる桜の香りのなかで厳しい世の移り変りに遭遇して人生の色彩も後から添えてくれるものと考えています。更にチャレンジしている毎日です。

●平塚市 石川(山崎)陽子(昭和38年卒)

新15B卒業の皆様、同窓会総会で集まりませんか。

●さいたま市 黒田拓司(昭和38年卒)

今年一月に、36年卒の先輩松田さんの経営する恵比寿ガーデンプレイス地下「とんかつ武蔵」で、私の以前の勤務先の西武百貨店43年入社同期会を行い、盛り上りました。実は、先輩も元西武で脱サラ、皆さんも一度行ってみてはいかがですか。おしいですよ。

●蓮田市 後藤鉄四郎(昭和39年卒)

残念ながら、未だ忙しく働いています。皆様とお会いしたくとも思っています。

●さいたま市 佐野和義(昭和39年卒)

真白き校舎、春の土煙り、見沼田圃の草いきれ、おばちゃん店の即席ラーメン60才を過ぎると、あの頃が無性に懐かしいです。

●相模原市 堤 晃(昭和39年卒)

四月から神戸へ、ビジネススマンとして初めての単身赴任。奈良・京都の桜巡りや、夜の街を徘徊したり第二の青春を満喫中です。

●水戸市 根本明德(昭和39年卒)

昨春秋、剣道と尺八の日本伝統文化普及と国際交流の目的で南米アルバ、ベネズエラを訪問。各国の若者達と楽しい一時を過ごしてきました。今後も再訪計画中。

●杉並区 島野博司(昭和40年卒)

五月には有志で草津温泉ホテル一井に行く事ができました。十一月にはクラス会も開催でき、恒例行事として定着できそうです。クラスの皆様、集まりに来て下さい。

●上尾市 菅原安則(昭和40年卒)

定年後、埼玉県に帰って来ました。健康の為に、サイクリングをしています。たまに新宿まで通勤も。他に骨盤スクワット等をしています。事務局の方々御苦労様です。

●北海道恵庭市

高橋次男(昭和40年卒)

本年五月に登別温泉の観光ホテル。第一滝本館を卒業致します。今後はシフトダウンしながら晴耕雨読的な第三期活動を送って行きたいと考えております。

●白岡町 中村孝也(昭和40年卒)

高橋幸雄会長、大変ご苦勞様です。柔道部出身の先輩として尊敬致します。頑張ってください。

●栃木県塩谷郡

山崎守彦(昭和40年卒)

38年間ベースにした名古屋を離れ

終いの棲家を栃木の地にしました。母校には近くなったのですが老々介護の手助けで西麗会活動が鈍くなつてしまいました。

●戸田市 遠山智一(昭和41年卒)

いつも西麗会報ありがとうございます。現在、週三日、大学のアドバイザーとして、諸々の相談にのる仕事をしています。

●熊谷市 長島 均(昭和41年卒)

転居先の近くで、「高校女子サッカー大会・めぬまカップ」に西高が出場していたのを見ました。

●さいたま市 安東英治(昭和42年卒)

還暦の年でしたが、我々の年代の同窓会が無く残念でした。今年の総会にも行けず。自営ですので定年せず頑張っています。孫も6人に成りましたよ……

●八王子市 齋藤次郎(昭和44年卒)

四十年前の卒業ですが、来年は会社を定年卒業の予定です。ふり返ってみれば、あつと言ふ間の感じですよ。西高時代の楽しい思い出がなつかしいです。

●熊谷市 富田道夫(昭和44年卒)

毎日、楽しく暮しています。欲を持たず、明るい、ポジティブな考えを持ちながら毎日暮しています。同級生はどうしているかな、皆さん、元気で暮して下さい。



●さいたま市 和田和子(昭和45年卒)

おなじみの和田ファミリーです。西高の傍に三世帯住居を構える予定です。中味は四世代同居です。可愛い孫娘達が西高入学することを夢みています。

●江東区 石松千春(昭和46年卒)

早いもので、40年以上がたちました。気持ちはいまでもゲタバキです。西高スピリッツ持ち続けてシニア年代にむかって走ります。又お会いしたいなあ。

●神奈川県藤沢市

●環(岩田)由美子(昭和47年卒)

ドイツ・アメリカと夫の赴任に伴い13年間の海外生活を終え、ようやく落ち着きました。スポーツおぼざんに化し毎日明るく元気に生活しています。

●さいたま市 鈴木一郎(昭和48年卒)

子供達も社会人と成りました。思えば私はこんないい人生を送るほどの人間ではなかった。俗に生き俗に死すとも、生きる覚悟は非俗でありたいと思う今日この頃。

●八王子市 山田(白井)明美(昭和48年卒)

九年間の仙台暮らし(夫の転勤の為)にピリオドを打ち、東京・八王子市に転居しました。懐かしい学び舎西高にも近くなりました。みな様にも会いたいです。

●草加市 石田享子(昭和50年卒)

二月に、母が七年間の介護の末に八十七才で亡くなりました。三月には主人が脳梗塞で入院し、働けなくなりしました。そんな状況の中で唯一の救いは、娘が現役で東京芸術大学に合格したことです。とにかく今は私がしっかりしなくては。十一月に学年同窓会があるようですが、旧友と語り合いたい気持ちでいっぱいです。

●桶川市 高橋(中田)康子(昭和50年卒)

生涯の友と出会えた西高時代。縁の大切さを感じて今頃です。今年は西高時代のもう一つの出会いのバイオリンをまた始めてみようと思っています。

●文京区 夏堀(新井)操(昭和50年卒)

子供のPTA役員になり、同じ役員のお母さんが西高出身とわかりお互いにびつくり。一気に意気投合しました。

●板橋区 石川理恵(昭和51年卒)

08年秋のプチ同窓会では、たくさん懐かしい友人に会えて楽しいひと時でした。あつと言う間に気持ちだけ十代にタイムスリップしました。

●さいたま市 小林和子(昭和51年卒)

今春、末娘が西高を卒業しました。ハラハラ、ドキドキさせられることの連続でしたが、親としてもう一度西高生活を味わうことができました。

●さいたま市 岡田祐子(昭和52年卒)

卒業以来、西高を訪れていませんが、会報で先生方のなつかしいお名前を見るのができて、五十歳になっても、高校生活を思い出し、元気をいただいています。

●上尾市 後藤一稔(昭和52年卒)

長男も今年三月に西高を無事卒業致しました。親子二代の卒業に感謝しております。こうなれば三代目も当然、西高卒となること期待しております。

●さいたま市 相良浩三(昭和53年卒)

浦和西高を、卒業して、はや、私も50才になります。介護の仕事で、追われ、ついに、結婚のチャンスに、めぐまれず、いまだ、独身です。希望を失わず、成就。

●練馬区 新藤葉子(昭和53年卒)

いろいろな能力の衰えを日々、痛感するこの頃です。元気がなくなりそうになりますが、50才を目前に、ここが人生の一つの踏ん張りどころと何とか頑張っています！

●さいたま市 鳥羽 恵(昭和53年卒)

今年50才になります。高校の時想像した50才と現実は大ちがいです。年を増すごとに倅が増す感じでの50代がとても楽しみ。50才記念に集まりたいですね。

●さいたま市 渡井則仁(昭和55年卒)

会報毎回楽しみにしております。

浦和に二十年ぶりに戻って来ました。カブスカウトの手伝いをしておりましたら、私も西高卒ですと言われ、非常になつかしかったです。

●さいたま市 小松崎 章(昭和57年卒)

現在、川口青陵高校に勤務しております。野球部監督で、甲子園目指して、日々部員たちと頑張っています。

●神戸市 渋谷昌洋(昭和58年卒)

新緑の季節、会報をお送り下さり、ありがとうございます。いつもこの季節になると西高在学の頃を思い出します。

●埼玉県入間郡

●光村孝清(昭和58年卒)

西高のホームページにて、ガンバ大阪監督の西野さんが、サッカー部を激励に来られた記事を見ました。サッカー部OBとして、とても嬉しかったです。

●茨城県高萩市

●佐々木(兼倉)裕子(昭和59年卒)

09年10月に男の子を出産しました。はじめての子供です。今は仕事を辞め、夫の赴任地の静かな町で、育児に忙しい毎日です。

●川口市 松村繁男(昭和59年卒)

元気ががんばっています。卒業して25年、上の子が高校を受験する歳になりました。

●上尾市 中島晴美(昭和60年卒)

小学校の先生をしています。昨年

は西高の大先輩である校長先生の元、母校の小学校で働かせて頂き思い深い年となりました。人との出会い素敵ですね。

●川口市 原山寛田知子(昭和60年卒)

二年前、四十歳で結婚しました。さいたま市から川口市へと引越し、生活もおちついたところです。

●ブラジルサンパウロ市

杉本京子(昭和61年卒)

昨年から夫の転勤でブラジルのサンパウロ市に子供二人と住んでいます。天候や文化の違いにとまどいながらも楽しく奮闘中です。(母)

●八王子市 村山謙(昭和62年卒)

元気にしております。結婚して下記に住んでおりますので、そちらに連絡して下さい。以前にもお知らせしたはずですが。

●さいたま市 馬場則雄(昭和63年卒)

西高通りを久しぶりに通りました。20年前と比べてとっても変わりましたね。西高生も私達の頃とずいぶん変わったように思います。いけめんが多いノ年をとった私。

●さいたま市

紅谷弘二・美奈子(昭和63年卒)

我ら西高生夫婦も結婚10周年を迎えました。3月には待望の次男泰成も誕生しました。家族仲良く毎日楽しく幸せに暮しています。

●北葛飾郡 奥貴豊嶋朗子(平成元年卒)

西高に教育実習に行つてから十六年、この間に高校教員から大学院進学、英国留学を経て、現在は大学で教えています。昨年やつと(?)結婚もしたのでそろそろ落ちつきます。

●鴻巣市 梅澤正尚(平成4年卒)

平成十七年に会社を設立しました。(㈱文化雑巾) 無事四期目を迎えております。今でも高校のときの友人とたびたび会っています。

●富士見市 木村斎藤知子(平成4年卒)

元1の9クラスの皆さんお元気ですか?私の体調も少しずつ回復してきているようです。またクラス同窓会ひらきたいですね。

●文京区

鈴木(金森)礼子(平成4年卒)

鈴木 稔(平成4年卒)

西高卒、同級生のバカッパルも今年、錫婚式を迎えました。一姫二太郎もおかげ様で三歳と六カ月になり健やかに成長しています。

●桶川市 竹内大介(平成5年卒)

土地家屋調査士として開業して丸5年が過ぎました。いろいろな方面で活躍しているOBの情報を聞くと、自分も頑張ろうと思いますよ。

●さいたま市 大谷義武(平成6年卒)

不動産業でさいたま市内に独立して4年目を迎えています。景気は依

然として厳しいですが、西高で学んだチャレンジ精神をもって頑張つていきたいと思えます。

●千代田区 小野寺宏泰(平成6年卒)

平成20年に千代田区神田で税理士事務所を開業しました。西高時代の友人とは今でもよく会い、当時の思い出をツマミにお酒を飲んでいきます。

●さいたま市 阿部竜彦(平成7年卒)

昨年私もようやく結婚し、今は浦和区在住となりました。現在も週末はバスケットをメタボ対策しています。馬鹿ばかりやっていた西高時代の皆の顔が見たいなあ。

●さいたま市 市川(八重樫)泉(平成7年卒)

西高通りを車で走ると、下校中の西高生集団に遭遇。「私も西高だったのよー」と叫びたい衝動に駆られます。娘に「やめて」と言われ、我慢しています。

●守谷市 金子大輔(平成9年卒)

卒業後、6年間アメリカに留学し、オレゴン大学卒業後、帰国し筑波大学大学院に入学、大学院卒業後、キックマン(株)にて、現在研究開発職として勤務しています。

●さいたま市 松岡 滋(平成9年卒)

南浦和で動物病院を開業しました。元気で過ごしています。

●兵庫県加古川市

太田垣(齋藤)由里佳(平成12年卒) 結婚により生まれ育った浦和を離

れることになりました。西高で出会った友は一生の友。遠く離れても心の側に居てくれる。ありがとう、これからもよろしくね!

●さいたま市 清野 聡(平成12年卒)

昨年度、埼玉県高等学校教諭に採用され、現在は県立久喜工業高等学校に勤務をしております。母校の活躍に負けぬよう、がんばっていきたいと思います。

●仙台市 菅原(鈴木)千絵子(平成13年卒)

平成二十年に転勤・結婚し、今は仙台で暮らしています。式に参列してくれた西高のみんな、遠くから来てくれて本当にありがとう。これからもよろしくね!!

●上田市 山田康則(平成14年卒)

西高を卒業してから、7年学生を続け、今年の4月からやつと働き始めました。遠い長野の地から西高を応援しております。

●さいたま市 浅野雄二(平成17年卒)

今年、大学の4年生になり、大学院への進学が決まりました。



# 二〇〇九年度 寄付者のお名前

(敬称略)

いつも西麗会への尊いご寄付をありがとうございます。お預かりしたご寄付のほとんどは、約二万人の西麗会員の心を結ぶ会報の印刷・発送にあてられるほか、現役西高生の自治活動を応援するため、西高祭補助費などにも使わせていただいております。

## おわび

二〇〇九年三月発行「西麗会報」第33号掲載の「寄付者のお名前」に、以下の方のお名前がもれておりました。(敬称略)

- 昭和21年卒 (旧9回) 吉野てい子 石塚玉恵
  - 薄田美江子 田嶋智子
  - 昭和22年卒 (旧10回) 芦田ひさ 澁谷定子 白戸道代
  - 中野敦子 井上妙澄
- 尊いご寄付をいただきながらお名前が掲載されず、申しわけありませんでした。今後このようなことがないよう編集にあたってまいります。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

西麗会広報部会

昭和13年卒 (旧1回) 大浜愛子 塚脇和子

昭和14年卒 (旧2回) 稲葉千鶴 鎌木美恵子 高橋春子

昭和15年卒 (旧3回) 町田富美江

昭和16年卒 (旧4回) 浅子一子 石井喜代子 川崎澄子

小山貞子 籠田君子 篠崎治子

田口美興子 高橋美智子

月野喜美子 鶴見初枝 寺島慶子

富田友子 中村光子 松井孝子

渡辺富代

伊藤淑子

昭和18年卒 (旧6回) 折笠栄子 佐々木しげ 脇屋容子

昭和19年卒 (旧7回) 井上昭子 清水和子 平柳和子

昭和20年卒 (旧8回) 坂藏みつ子 杉山幸子

昭和21年卒 (旧9回) 石塚玉恵 薄田美江子 大熊綾子

清野幸子 田島智子 森田綾子

吉野てい子

昭和22年卒 (旧10回) 芦田ひさ 井上妙澄 内田君江

昭和23年卒 (旧11回) 澁谷定子 中野敦子

昭和24年卒 (旧12回) 岡本明子 鈴木栄子 滝本昌子

中野政子

天野美子

昭和25年卒 (2回) 大塚信代 河岡克子 小池幸子

鈴木和子 宮田仁子

昭和26年卒 (3回) 小川君子 粕川初枝 勝木美津子

小出敏子 高際ひさ子 中野喜美

西村久美恵 宮山初枝 森川靖子

吉田克子 和田久美子

昭和27年卒 (4回) 井原幸子 梅田亮子

昭和28年卒 (5回) 菅沢秀夫 高木芳子 田中忠明

重田圭子 細田喜一郎 島田幸子

寺村玲子

昭和29年卒 (6回) 前田正夫 青柳逸子 大竹栄子

小林稔正 松倉健吉 梅村凉子

大熊幸子 住田雅子 大谷康代

加部すみ子

昭和30年卒 (7回) 小林茂水 森井良子 尾熊周三

榎本千恵子 小川紘子 久保哥久子

鈴木正明 加藤正納 佐久間義広

清水英明 増田敏勝 山田勝弘

昭和31年卒 (8回) 新井英一 大森忠篤 桜田勇

田中利幸 長浜勝栄 難波竹一郎

松本晃 山根祥二 栗本東子

笹川経子 冷水俊朗 荒井利尚

昭和32年卒 (9回) 新藤善之 今井忠 建部立夫

木村みつほ 近藤聡子 門本ヨリ子

金子悦子 小林久江 栗原能

立川武司 野中尚武 府川代四男

渡辺正朋

昭和33年卒 (10回) 高村泰裕 豊島泰之 内藤光枝

古畑喜美子 長達彦 高橋國彦

七澤敏子 鈴木孝治 竹ノ谷光美

成田誠 町田利之 本庄久子

昭和34年卒 (11回) 羽山靖子 清山和男 田村公一

間茂紀 黒木璋子 宮崎伊都子

斉藤肇 清水通昭 高橋幸雄

松苗弘明 和田達夫 中枝和子

三林芳子 川畑啓子 山崎則子

赤沼経議 竹鶴壽男 松浦イトエ

吉田維夫

昭和35年卒 (12回) 末武幸子 竹ノ谷裕子 広居美佐子

松村昭子 松田正剛 林正子

福田淑子 小川正一 高橋照司

高橋恵美子 佐藤喜和子 高橋正臣

山田圭士 吉村克昌 針ヶ谷嘉浩

昭和36年卒 (13回) 構かつ子 中西忠夫 秋山喜代子

小川敬子 高橋司全 中野賢三

青山明子 野崎久男 藤倉博

湯村啓助 齊須祥子 青島誠

豊島義明 野口純一 星野康弘

戸田隆一 沼野英文 林野宏

村上明夫

昭和37年卒 (14回) 高橋道子 長本和子 藤田静子

福島眞砂代 松井都 川又忠昭

高橋初子 高橋勝行 山本哲男



田中純子 藤井克己 吉岡信二  
八木正武

昭和38年卒 (15回)

石川暘子 入澤洋子 牛島美智恵  
樋口洋子 杉澤昇 齊藤進  
大貫佳代子 真田孝雄 高橋正弘  
中河原喬一 木戸晃

昭和39年卒 (16回)

山田菜穂子 林和子 村井公子  
根本明德 田中裕子 佐野和義  
島村一彦 堤晃 山田康博  
後藤鉄四郎 永田裕 村井勝美  
佐藤誠造 森茂 山田信彦

昭和40年卒 (17回)

高橋次男 鶴岡保 山田孝子  
熊木謙論 白石清 橋本秀夫  
増田京子 渡辺美佐子 沢田正行  
野口哲夫 中村孝也 宮木俊孝  
山崎守彦 島野博司 古瀧美智子  
中村邦子 大室清 金子揚子

昭和41年卒 (18回)

大木葉博通 西野久美子 神田敏男  
江川清 中島裕子 佐藤裕子  
関根耀子 高橋みつ子 藤元美代栄  
池澤堯彦 佐竹清 大熊幸雄

昭和42年卒 (19回)

稲垣昇 木村修 伊藤きみ子  
今井八重子 福田まち子 安東英治  
上倉功 横山孝司 河合のり子  
佐竹恵津子 松本知歌子 町田三枝子  
佐藤良雄 匿名2名

昭和43年卒 (20回)

山形修 山岸勉 永田喜雄

西村富夫 三谷真弓 板野敏子  
木村美代子 清水俊一 本間葉子  
松田章子 八木純子 横山千津恵  
磯田喜美子 生沢広次 吉本満代  
千谷一郎 片岡素子 山下和子  
山下順子 田部井功

昭和44年卒 (21回)

安藤昭 奥山清志 関口彰子  
辻久枝 石井均 丸山紀子  
池亀利恵子 齋藤次郎 遠藤きく江  
小泉和子 榊原啓子 樋口千枝子  
生澤真弓 鈴木真澄

昭和45年卒 (22回)

吉岡均 小林由美子 吉田和枝  
齊藤俊一 島崎富夫 松本直子  
武藤伸子 大類由美子 堀田美枝子  
綿貫保子 和田和子 小沢千恵子  
島茂美 小林妙子 島泰子 林一雄  
寺木眞一郎 吉田伸 阿部博之  
新井康俊 上野邦雄 金子弘  
芝崎眞理 若林美子 井原誠吉

昭和46年卒 (23回)

田中敏雄 石松千春 中村輝久  
船津徳英 岡田美枝子 武藤智江  
高野美恵子

昭和47年卒 (24回)

福井一夫 堀富雄  
野口万里子 今岡章夫 矢作哲也  
多喜田瑞栄 原田洋子 細田陽子  
白石哲郎 松澤静男 広田径子  
柳沢礼子 兼良子 小林恵美  
福田定男 間山和幸 高橋理恵子  
小谷野博史 津田和子

昭和48年卒 (25回)

安藤裕子 高橋厚夫 高橋律子  
野口佳代子 金井万里子 山田明美  
鈴木一郎 清水伸夫

昭和49年卒 (26回)

武井隆一 加藤えみ子 人見敏明  
島内則子 寺山順子 戸村順子  
栗原宏夫 富樫正紀 中川順子  
藤原京子 青山篤 夏堀操  
大石徹 森真一 河村郷子  
齊藤登 新藤明夫 豊田勉

昭和50年卒 (27回)

沼口正英 山崎幸子 早船雅文  
満田三恵子 嶋原勝久 新谷稔  
玉岡寿美子 船橋由美 伊藤京子  
武内よしみ 小林宏也 石川理恵  
江口啓子

昭和51年卒 (28回)

関口幸子 三村優子 岡田祐子  
後藤一稔 小松正伸 浅見哲哉  
星葉子 高橋典子

昭和52年卒 (29回)

新藤葉子 荒井正明 河野正  
工藤登志也 内田圭子 石原早苗  
鳥羽恵 渡部智博 赤羽明宏  
相良浩三 柳沢真里 阿野清治  
大澤晴彦 小幡日登美 和田哲也

昭和53年卒 (30回)

岩崎昭 山崎和子 小林功  
小出海哥子 郷由美子  
Drudめぐみ

昭和54年卒 (31回)

松本和幸 信沢雅志 上野恵三  
荻野聡 杉井美佐子 福田真穂子  
渡部美奈子 齋藤由美子  
根本みどり 大磯隆 小野裕子  
石川優子 田口久徳 田口里香  
大嶋澄子 高橋かほる

昭和55年卒 (32回)

友松利英子 戸田仁 吉岡典子  
阿部隆 吉田新一 江藤早苗  
南早苗 大下明美 口久衣代  
宝寺浩 北川早苗

昭和56年卒 (33回)

村口由香 高橋仁美 山崎正一  
松本真由美 福川英司 野平博司

昭和57年卒 (34回)

黒沢義智 菊地睦治 久保村康史  
丸重尚子 鈴木智行 近江秀  
渋谷昌洋 石原慶代 波多野直美

昭和58年卒 (35回)

秋山千秋 城田晴美 南地尚美  
高山憲行 藤巻巖 伊藤育子  
佐々木裕子 三野裕之

昭和59年卒 (36回)

山中英実 玄間千秋 佐藤康平  
神農光二 江草文子 笠井千奈美  
原山知子 大熊康典 若松重夫  
青木香 佐藤幸江 増田恵子  
山本幸代

昭和60年卒 (37回)

信田照幸 長谷川友孝  
昭和61年卒 (38回)

昭和62年卒 (39回)

金田拓也 島村明美 藤田亨

- 小瀬隆一 中澤淳人  
**昭和63年卒 (40回)**
- 奥山信男 島田貴子 齋藤貴弘
- 南由利子 本間栄治 渡辺誠
- 紅谷美奈子 紅谷弘二 奈須川伸一
- 森下英理子 田沼祐樹
- 平成元年卒 (41回)**
- 加藤順子 笹本紀子 栗原英一
- 内山美穂子 奥貫朗子 石塚望
- 楠瀬久美子
- 平成2年卒 (42回)**
- 松永智子 森切瑞恵 北原路子
- 奥山真理綾 青柳亮子 和田晶子
- 平成3年卒 (43回)**
- 結城尚子 蓬田路子 森泉和宏
- 平成4年卒 (44回)**
- 小池英子 梅澤正尚 内田玲子
- 橋本雅子 池澤奈美 鈴木礼子
- 鈴木稔 本間幸信 田所その江
- 増沢智成
- 平成5年卒 (45回)**
- 山内美紀子 竹内大介
- 平成6年卒 (46回)**
- 小野寺宏泰 岩本和久 佐藤智大
- 大谷義武
- 平成7年卒 (47回)**
- 市原雄心 高野大作
- 平成9年卒 (49回)**
- 川村佳宏 松岡滋
- 平成10年卒 (50回)**
- 北村智夏
- 平成11年卒 (51回)**
- 半田亮子 大木剛 平井博明

**2009 (平成21) 年度 西麗会 予算執行状況**

(単位:円)

収入の部	科目	予算額	収入済み額	比較増△減額	摘要
	会費	1,770,000	1,770,000	0	@5,000×354名
	雑収入	1,000	267	△733	預貯金利子・利息
	寄付金	1,600,000	1,809,685	209,685	皆様からの寄付
	繰越金	574,999	574,999	0	2008年度の繰越金
	計	3,945,999	4,154,951	208,952	

支出の部	科目	予算額	支出済み額	予算残額	摘要
1	運営費	230,000	184,363	45,637	
	(1) 会議費	50,000	38,783	11,217	理事会
	(2) 通信費	20,000	580	19,420	郵送料
	(3) 消耗品費	10,000	0	10,000	
	(4) 交通費	150,000	145,000	5,000	理事会・研修旅行補助等
2	事業費	3,180,000	2,899,233	280,767	
	(1) 会報発行費	2,600,000	2,466,744	133,256	西麗会報第33号
	(2) ホームページ費	30,000	30,000	0	
	(3) 広報機材費	0	0	0	
	(4) 総会費	250,000	178,934	71,066	
	(5) 文化事業費	60,000	0	60,000	敬老事業・福祉事業
	(6) 西高祭援助	100,000	100,000	0	
	(7) 入学卒業記念	120,000	118,830	1,170	クリアファイル・卒業証書筒
	(8) 学年同窓会補助費	20,000	4,725	15,275	宛名シール印刷補助
3	慶弔費	100,000	10,000	90,000	
4	積立金	0	0	0	
5	予備費	435,999	0	435,999	
	計	3,945,999	3,093,596	852,403	

財産の報告

積立金の種別	金額
基本積立金	8,116,959
記念事業積立金	6,268,034
合計	14,384,993

- 藤見歩 瀧澤織  
**平成12年卒 (52回)**
- 今出早海 海老原朱里 近野綾子
- 清野聡
- 平成13年卒 (53回)**
- 大栗利恵 向笠菜美 菅原千絵子
- 平成14年卒 (54回)**
- 榎本淳 山田康則
- 平成15年卒 (55回)**
- 平山藍子
- 平成16年卒 (56回)**
- 坂西野風子 加藤まみ 岡本翼
- 宮本奈央美
- 平成17年卒 (57回)**
- 笠原明日香 多喜田勇一
- 平成18年卒 (58回)**
- 黒米敏弘 金庭祐子 小原孝則
- 平成19年卒 (59回)**
- 山口佳菜子
- 平成20年卒 (60回)**
- 山本亮 池田和馬 佐藤要
- 加藤諒祐 久保奈緒美
- 平成21年卒 (61回)**
- 中里朋美 松田秀滉 黒羽根翔
- 大沼美樹
- 団体
- 平成21年3月卒業生一同

2010.2.17 現在

# 同窓会だより 今日だけ高校生

## 卒業三十周年の同窓会

岩崎 昭 (昭和54年卒)

「もう三十年も経ったのかあ」という声があちらこちらから聞こえてきます。卒業三十周年の節目となる二〇〇九年一月三日浦和ロイヤルパインズホテルに、七名の先生方と一七七名の卒業生が集まりました。

五十嵐克篤・実幸夫妻の息のあった(あたりまえか?)司会で三年ぶりの同窓会は、開会しました。山本雄一君の発案・構成によるイントロ当てクイズは、会場を大いに盛り上げ、恒例の写真撮影までの二時間半はあっという間に過ぎてしまいました。

「在学時には、話をしたこともなかった人とも話ができてよかった」などと言ってくれた人もいました。これも三十年という歳月の成せる技なのでしょうか?

正月のお忙しい中、ご参加くださいました先生方、ひとりでも多くの仲間を集めようと努力してくれたクラス幹事の皆さん、そして前回十数年ぶりに同窓会を企画、



開催してくれた石川徹・真由美夫妻に改めて学年幹事よりお礼申し上げます。次回は三十五年目でしょうか? 再会を楽しみにしています。

## 卒業50周年記念の集い

正田 義明 (昭和34年卒)

開催計画当初から何人の参加を期待できるか幹事会で心配の種でした。卒業当時の三百十四名から現在連絡が何人取れるか、過去の



住所で予告通知、二百六十名に付いたことを確認後住変を加えて開催通知で再度確認しながら参加の呼びかけをしました。皆、六十七歳を超えているため、身体の調子を考慮しながらの参加で計八十五名の参加を見ました。担任の先生方も逝去された方も多く、長谷川

先生、荒井先生のお二人の参加を見たことは素晴らしい光彩を放ち、同窓会を身近にしました。幸い、救急車の世話も見ず一次会の懇親会・卒業五十周年の社会世情の移り変わり・卒業写真の上映・懐かしい叙情あふれた校歌、二次会のカラオケ中心の親睦会と四時間以上にわたり青春の旧情旧暦を振り返って話が弾み、楽しみました。

## 29年卒有志

### 同窓会の集まり

小林、金杉、山崎圭、石川良 (昭和29年卒)

私達29年卒の同窓生は、第16回目ですが元気に集まることが出来ました。

遡ること22年前(昭和62年)に第1回目の同窓会が、旧母校が隣



接していた懐かしい別所沼会館にて開催され、9名の恩師の先生方と74名の同級生が集まりました。以後は例年、浦和を中心に随所で開催されて参りました。

今回は11月2日(月)午後17名の有志が集まり大宮の、JR鉄道博物館“の見学を皮切りに、1泊2日の旅程にて懇親会を大宮国体記念会館に移し、夜半まで、積年の思い出話に、花を咲かせることが出来ました。

今後は、有志が集まり、相互に元気を確認する個々のグループ活動にて継続して行なう事を合意し、



散会しました。同時に新年会は、大宮にて来る1月、食事会を兼ねて再会することも決定しました。

### 西麗医会の発足

野口 哲夫(昭和40年卒)



浦和西高卒業生で医師になった者の一部が同窓生同士の懇親を深める目的で西麗医会(仮称)なるものを発足させました。過日の会合では、形山素朗先生(地学)遠藤清一先生(英語)のお二人の恩師を囲んで、丹野(小川)嬉喜子(昭40卒川口保健所長)福田純(昭43卒内科)福田定男(昭47卒内科)

沼口正英(昭51卒産婦人科)野口哲夫(昭40卒整形外科)の五人が集まりました。

他の学年の卒業生の中に医師になった方達もつと大勢いるかと思えます。その方達にもお集まり頂き、更なる懇親を深めたいと思いますので、左記にご連絡下さい。

医療法人誠清会

野口整形外科クリニック

野口 哲夫

川口市並木3-3-9-101

TEL 048-258-2268

FAX 048-258-2515

### 浦西パワー顕在! 還暦同期会

昭和43年卒幹事一同  
(昭和43年卒)

2009年10月31日ラフォーレ清水園にて第20回卒業生126名の出席に斎藤定吉先生と中村清先生のご参加を得て、還暦記念同期会を開催しました。幹事26名が2年の準備期間を経て「楽しい同期会に」という思いのもと頑張りました。おかげさまで多くの皆様の出席をいただき、3時間が非常に短く感じるほどで、浦西パワーの顕在ぶりを感じさせてくれました。



これからも色々な集まりを重ね健やかな顔を見せ合いたいものです。では、またお会いする日までお元気で!



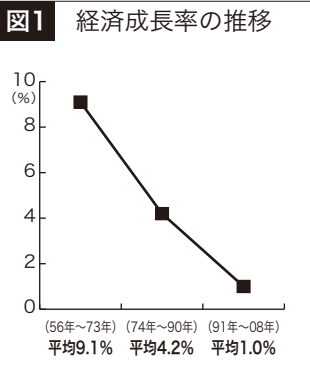
# 今の大学生の就職事情

1月14日厚生労働省は今春卒業予定の大学生就職内定率を発表した。73%と過去最低、バブル崩壊後の「就職氷河期」の再来が懸念されている。

厚労省は「大手が採用を控えている上、例年、秋以降採用を行う中小企業の経営状態も悪く」と語っている。

短期的理由もあるが、長い目で見ると、世界経済も含め日本の経済が下り坂に入ったことは事実だ。1956年から73年までの成長率は年率9%強、74年からは4%強、91年からは1%、そしてマイナス成長だ。(図1)

容易ではない時代が始まったと言えるべきだろう。これから世の中に出る人は大変な時代を生きて行かねばならない。



## 「未来の種」開かれる 元氣な二人の卒業生

こんな時、タイムリーな企画があった。昨年12月4日に開かれた進路指導部とPTA共催の平成21年度の「未来の種」だ。在校生が卒業生の話を聞き、生き方や進路を考えようというもの。今年は「西麗会」が積極的に人選に協力した。

講師は平成9年卒業で獣医師の須見はるなさんと平成15年卒で星野リゾート社員で旅館再生プロジェクトに取り組む狩野奈々子さんの二人だ。

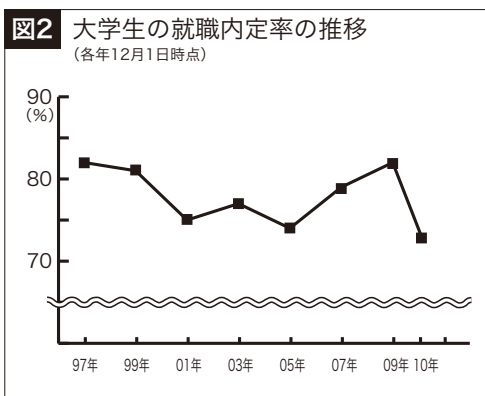
お二人が共通して強調されたことは「自分の好きなことを仕事にすること(私探しの旅は続きます)仕事で大事なことはコミュニケーション能力(西高時代に磨いてください。西高時代は、好きなことを見つけたこと、それに必要な準備をし能力を身につけること、コミュニケーション能力を獲得すること)等を強調されました。ワンちゃんや老舗の旅館を相手に二人の卒業生の姿はとても頼もしく見えました。

## スキルの時代

就職氷河期の再来を思わせる大学生の就職事情。お二人の卒業生のお話。年々の就職事情は、その年々の経済事情に左右されますが、日本経済が10%もの高度成長を続ける幸せな時代が終わったのは事実。どうやら下り坂の時代が始まったようです。(図2)

こんな時、大事なものは企業ブランドではなく自分の中にだけ「スキル(技能)」を作りあげるかだと思いました。西高時代の3年間がそんな「スキル」を作る大事な時代となるよう西麗会もお手伝いしたいと思います。

(村上明夫)



## 編集後記

「西麗会報」第34号をお送りします。「未来の種」で講演した二人の西麗会員のお話は、元気で素晴らしいものでした。(上段参照)。聞いていた在校生もとても真剣でした。年にたった一度の会報ですが、全国の会員を結ぶ大切な絆です。一生懸命作りました。第二高女や浦和西高を卒業して長い方も、短い方もいますが、西高は大事な故郷です。機会がありましたらぜひ母校をお訪ねください。

(村)

## 広報委員会

- 村上 明夫 (昭和36年卒)
- 大熊 幸雄 (昭和41年卒)
- 本間 葉子 (昭和43年卒)
- 齊藤 俊一 (昭和45年卒)
- 小林 功 (昭和54年卒)
- 岩本 和久 (平成6年卒)
- 片岡 浩一 (平成10年卒)

発行・編集  
**西麗会**  
発行人 高橋幸雄  
編集人 村上明夫

〒330-0042  
埼玉県さいたま市浦和区木崎3-1-1  
TEL 048 (831) 4847  
FAX 048 (830) 1117  
西麗会メールアドレス  
seireikai@urawanishi-h.spec.ed.jp  
西麗会ホームページ  
http://www.seireikai.org/